

2300 series SmartPanels

Release Notes

2.3.1

日本語版

目次

1	含まれるコンポーネント	3
2	新機能	3
3	2300 シリーズ SmartPanel	3
3.1	SmartPanel-2300-FW 2.3	3
4	バグ修正, 性能と安定性の改善	4
4.1	SmartPanel-2300-FW 2.3	4
4.1	SmartPanel-2300-FW 2.3.1	4
5	追加情報	5



1 含まれるコンポーネント

コンポーネント	最新バージョン
SmartPanel-2300-FW	2.3.1
MNCA	5.0

2 要旨

DHCP による自動 IP 設定

2300 シリーズ SmartPanel は DHCP 経由の自動 IP 設定をサポートするようになり、導入時の手動設定を大幅に削減しました。

VoIP のサポート

2300 シリーズ SmartPanel は、Artist-1024 と新しい Connect DUO IPx2 および Connect VoIP IPx16 デバイスとを組み合わせたテレフォニー・ワークフローをサポートするようになりました。

キーバンク切り替えの改善

キーバンク切り替えのワークフローを改善し、ボタンを 1 回押すだけで、最後にアクティブだった 2 つのキーバンクをより速く切り替えられるようになりました。

アジア系フォントの Unicode サポートを拡張

2300 シリーズ SmartPanel は、日中韓の記号と句読点、ひらがな、カタカナなど、より幅広い種類のアジア・フォントをサポートするようになりました。

3 2300 シリーズ SmartPanel

3.1 SmartPanel-2300-FW 2.3

DHCP による自動 IP 設定

2300 シリーズ SmartPanel は DHCP を介する自動 IP 設定をサポートし、導入時の手動設定を大幅に削減しました。DHCP は RIEDEL が生産する SmartPanel の新しいデフォルト設定となります。DHCP を有効にすると、ネットワーク上の DHCP サーバーは各 SmartPanel のネットワーク・インターフェイスに IPv4 アドレス (必須)、ネットマスク (必須)、デフォルト・ゲートウェイ (任意) を割り当てることができます。IP 設定の変更は即座に反映され、再起動は不要です。以前に構成された静的 IP 設定は保存され、ユーザーが静的モードから DHCP に変更した場合にも持続します。DHCP を使用するパネルが DHCP をサポートしないバージョンにダウングレードされた場合、パネルはデフォルトの静的 IP 設定を取得します。このため、ネットワーク内で複数のパネルが同じ IP 設定を持つ可能性があることに注意してください。静的 IP 設定が以前に行われていた場合、ダウングレード/アップグレード後も同じ静的 IP 設定になります。

注意： SmartPanel の DHCP は Artist ファームウェア v8.6 でのみ動作します。

アイドル画面のネットワーク情報の拡張

インターカム・モードにある Artist-1024 のアイドル画面のネットワーク情報が拡張され、ネットワーク・インターフェイスの状態と設定をより簡単かつ迅速に評価できるようになりました。

- 1 行目：マトリックスへの接続状態
- 2 行目：インターカム・モード (Artist-32/64/128 または Artist-1024)
- 3 行目：ネットワーク・インターフェイスの割り当て
- 4 行目：インターフェイスの状態 (OK または Not OK)
- 5 行目：設定モード (静的 IP または DHCP)
- 6 行目：実際の IP アドレスまたは「Waiting for DHCP」

VoIP のサポート

2300 シリーズ SmartPanel は、Artist-1024 と新しい Connect DUO IPx2 および Connect VoIP IPx16 デバイスと組み合わせたテレフォニー・ワークフローをサポートするようになりました：

- ダイヤル・キーパッドを介して VoIP デバイスへのコールを設定する
- 電話帳を使用して VoIP デバイスへの接続を簡単に確立する
- 事前に定義された固定電話番号にコールする
- VoIP コールの受信 / 拒否する

キーバンク切り替えワークフローの改善

2300 シリーズ SmartPanel では、キーバンク・ボタンの短押しと長押しが区別されるようになりました。短く押しと最後にアクティブだった 2 つのキーバンクが切り替わり、長押しするとキーバンク・ビューが表示され、ユーザーはタッチスクリーンを介して別のキーバンクを選択することができます。

アジア系フォントの Unicode サポートの拡張

2300 シリーズ SmartPanel は、より多様なアジア・フォントをサポートするようになりました。以下のフォントがサポートされました：

- 日中韓記号および句読点
- 日中韓統合表意文字拡張 C
- Hiragana
- ひらがな
- カタカナ
- ハングル文字拡張 A
- ハングル文字拡張 B
- ハングル音節
- 康熙字典

4 バグ修正, 性能と安定性の向上

4.1 SmartPanel-2300-FW 2.3

- ・ パネル・キーの copy/reply コマンドが他の Director 設定コマンドとともに渋滞する問題は修正されました。
- ・ 設定変更後、応答キーに最後のコーラーが表示され続ける問題は修正されました。
- ・ FW アップデート後に ID2 を使用する ESP-2324 が正しく接続されなくなる問題は修正されました。

4.2 SmartPanel-2300-FW 2.3.1

Intercom アプリ

- ・ アクティブな IFB 入力がある Reply キーに表示される問題は修正されました。

MediorNet Control アプリ

- ・ MNCA が別のサブネットの MediorNet に接続できない問題は修正されました。

5 追加情報

WebUI ファームウェア・マネージャーを使用したバージョン 2.0 からの複数のパネルのアップデート / ダウンデート

バージョン 2.0 から、複数のパネルを同時にアップデートまたはダウンデートする場合、WebUI ファームウェア・マネージャーにパネルがすべて表示されないか、一部のパネルでアップデート処理が失敗する可能性があります。ネットワーク内で検出できるパネルの量が増えるほど、その可能性は高くなります（2300 シリーズだけでなく、1200 シリーズ・パネルも考慮する必要があります）。アップデート / ダウンデート処理が失敗した場合はパネルを再起動する必要があります。そうすれば処理を再度開始できます。バージョン 2.0 を実行しているパネルを個別にアップデート / ダウンデートするか、切断するか電源をオフにすることで最大 10 台のパネルがネットワークに表示されるようにすることをお勧めします。もちろん USB 経由でのアップデート / ダウンデートも可能です。根本的な問題はバージョン 2.1 で修正されたため、このバージョン以降、ネットワーク内のパネルの数に関係なく、複数のパネルを一度にアップデート / ダウンデートできるようになります。

バージョン 2.0 以降へのアップデート

バージョン 2.0 以降へのアップデートは、バージョン 1.6 以降でのみ機能します。古いバージョンをお使いの場合は、まずバージョン 1.7（ダウンロード・センターで入手可能）にアップデートしてください。その後、1.7 から 2.0 以降へのアップデートが可能になります。

Web UI

- 旧バージョンからのアップデート後は、ブラウザで Web UI を再読み込みする必要があります。
- ファームウェア・バージョン 2.0 より前のバージョンにダウンデートすると、Web UI アップデート・マネージャから切り離されることとなります。

ライセンスのアップロード

- ファームウェア 2.0 では、ライセンス・ファイルを USB 上の特定のフォルダ内に保存する必要がありません。有効なライセンスの有無をドライブ全体にわたって検索するからです。
- ライセンス・ファイルを特定の名前にする必要もありません。

IP アドレス設定

IP アドレス範囲 192.168.70.xxx は、接続されている ESP-2324 のアドレス指定とアップデートのために内部的に予約されていますので、使用しないでください。

MediorNet Control アプリ

- MediorNet システムで MediorNet 7 を実行している場合は、2300 シリーズ SmartPanel のファームウェア・バージョン 1.70 以上にアップグレードする必要があります。これは、Ember 実装の変更により、ファームウェア 1.60 ではバージョン 6.1.x 以降の MediorNet システムを制御できなくなるためです。
- 既知の問題：アクティベートされたライセンス・バージョンに関係なく、MNCA ライセンスが常にバージョン 1.0 と表示されます。これは表示の問題であり、実際の機能には影響しません。